

令和5年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立志和小・中学校
学校長名 脇坂 治海

1 研究主題・研究内容・方法等について

(1) 研究主題

地域とともに未来を創造する児童・生徒の育成
～「eSTEAM教育の実践」と「理数教育の充実」を通して～

(2) 研究主題の設定

これからの社会を生きる子どもたちにおいては、AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日において、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれらを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びついていく資質・能力の育成が求められている。

また、中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～において、「2020年代を通じて実現すべき『令和の日本型学校教育』」の姿として、「学校と社会とが連携・協働することにより、多様な生徒一人一人に応じた探究的な学びが実現されるとともに、STEAM教育などの実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学びが提供されている」とある。

本校の児童・生徒にとっての身近な社会は、「志和」という地域である。この「志和」の地域から、課題を発見、解決したり、児童・生徒が創造したことなどを地域に発信したりする学習を充実させることで、未来を創造していくために必要な資質・能力を育成することができると思う。

「未来を創造していくために必要な資質・能力」とは、「ある事実を元にして未知の事柄について予想し、論じていく」力、いわゆる「推論する力」であると考えている。これからの社会を生きる子どもたちにとって、各教科等での学びを基盤としながら、未知のことを予想し、論じていく力が求められるのではないかと考える。

そこで、本校では、総合的な学習の時間において、地域を教材とした「eSTEAM教育」を実践することを通して、探究的な学びを充実させ、「推論する力」は発揮させることで、地域の課題を発見したり解決したりする学習を行うこととした。また、探究的な学びを実現させたり、「推論する力」を育成したりするためには、各教科等の学びの充実が必要不可欠である。そこで、「未知の事柄を予想する」という面で、予想を立て、結論を導く「理科」や、「見通し」をもとに、既習事項を活用して解決する「算数・数学」といった理数教育の充実に加え、「論じる力」の基盤となる資質・能力である「言語能力」の育成の充実を図ることとした。

(3) 研究仮説

地域を活用した、生活科や総合的な学習の時間を中心とする「eSTEAM教育」において、探究活動の充実を図ったり、算数・数学、理科等において身につけさせたい資質・能力を育成する授業づくりを行ったりすれば、地域課題を解決し、地域のためにできることを考え、行動できる児童・生徒を育成することができるであろう。

(4) 研究内容

- ①地域を活用した生活科や総合的な学習の時間のeSTEAMカリキュラムの開発と実践
- ②「推論する力」を育成する「算数・数学」「理科」の小中9年間を見通した授業づくり
- ③学習の基盤となる資質・能力である「言語能力」を育成する授業づくり

(5) 検証の視点とその指標

① 地域を活用した生活科や総合的な学習の時間のeSTEAMカリキュラムの開発と実践

検証の視点	方法	検証の指標及び達成目標
① eSTEAMカリキュラムの開発	教師アンケート	地域を活用したeSTEAMカリキュラムを1学年1つ開発(目標-カリキュラム-評価)
② 探究的な学びの充実	児童・生徒アンケート	全国学力学習状況調査質問紙調査 「今住んでいる地域の行事に参加している」 「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある」 「授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行った」 肯定的評価…80%以上

② 「推論する力」を育成する「算数・数学」「理科」の小中9年間を見通した授業づくり

検証の視点	方法	検証の指標及び達成目標
① 「算数・数学」「理科」で育成する資質・能力	児童・生徒学力調査	○標準学力調査分析 (学年始(NRT) - 学年終(CRT)) (学年始(NRT) - 学年終(習熟度))
② 推論する力の育成	児童・生徒アンケート	○全国学力学習状況調査質問紙調査 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいます」 「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」 肯定的評価…80%以上 ○全国学力学習状況調査を活用した調査問題 正答率…80%以上

③ 学習の基盤となる資質・能力である「言語能力」を育成する授業づくり

検証の視点	方法	検証の指標及び達成目標
① 自分の考えをまとめたり、他者の思いを受け止めたりしながら自分の思いを伝えることができる。	児童・生徒アンケート	全国学力学習状況調査質問紙調査 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」 「各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」 肯定的評価…80%以上

2 校内研修計画

4月

- ・前年度の研究の成果と課題分析及び児童・生徒の実態把握
- ・研究推進計画案や研究組織づくり

5月～8月

- ・研究方法の確認
- ・eSTEAM教育の理論研修
- ・児童・生徒の実態把握 アンケート検討及び実施
- ・志和小中学校9年間で、めざす児童・生徒の姿，育成をめざす資質・能力についての検討及び構築
- ・学習指導案検討、授業実践

9月～12月

- ・学習指導案検討、授業実践
- ・生活科，総合的な学習の時間の進捗確認及び検討，修正
- ・学力テスト，児童・生徒質問紙の考察，課題の明確化及び今後の方向性確認

1月～3月

- ・児童アンケートの検討・実施・検証
- ・講師を招聘して理論研修
- ・研究仮説に基づいた検証
- ・研究の成果と課題
- ・研究紀要作成
- ・本年度の研究のまとめと次年度の方向性の協議

3 研究公開の予定について

- ・なし